

JFM だより

vol. **37**
MARCH 2021

[石川県能美市]

能美ふるさと ミュージアム

地元の魅力を再発見できる学びの場



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 09 利用してみよう! 地方支援業務
- 11 みんなのギモンにファイナンス博士が回答!
みんな気になる、お金のこと
- 13 わたしのシゴト わたしのジモト
- 15 私たちもJFM債買っています!
- 15 編集後記
- 15 機構からのお知らせ

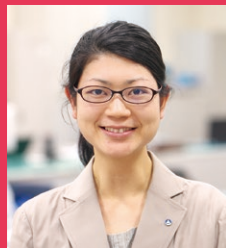


ポートレース徳山



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く

地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities





地元の魅力を再発見できる学びの場

石川県能美市 能美ふるさと ミュージアム

豊かな歴史と美しい自然が特徴の石川県能美市。

市の新たなランドマーク「能美ふるさとミュージアム」では

「郷土の豊かな自然と悠久の歴史をともに学び、守り、伝え、より^よ能^みき美来を育む」を
基本理念に能美のさまざまな魅力を発信しています。





1



2



3



4



5



6



7



8

能美ふるさとミュージアム 概要

所在地: 石川県能美市寺井町を1-1
開館: 令和2年10月
延床面積: 2,721.73㎡
展示品数: 約800点

能美ふるさとミュージアムって？

地域の歴史や民俗、自然が学べる総合博物館

能美ふるさとミュージアムの前身である、「能美市立博物館」と「能美市立歴史民俗資料館」は、それぞれ昭和50年代に建設された能美市の文化拠点でした。施設の老朽化により、収蔵資料の保存に適切な環境を維持することが難しくなり、2つの施設の機能を統合したミュージアムの建設が決定しました。その際、各施設が所有していた歴史・民俗に関する展示品のみならず、新たに能美の自然の魅力を伝えるコーナーも追加することで、地域の魅力を余すことなく伝えられる総合博物館へと生まれ変わりました。

能美の歩みを紐解くテーマ展示

和田山古墳群の景観と調和するよう、施設外観には木材を使用。さらに、和田山一号墳から出土した六鈴鏡をイメージした「体験棟」など、木の温もりと歴史を感じるデザインとなっています。また、館内のテーマ展示室では、5つのテーマに沿って能美の歴史・自然・民俗を貴重な展示品とともに紹介しています。中でも好評なのが、国指定史跡能美古墳群の出土品を展示している「能美の誕生」コーナー。4体の甲冑は、来館者を釘づけにしてしまうほどインパクト抜群です。「能き美しき能美の自然」コーナーでは花の香りや海鳥の鳴き声など体験型展示で能美の豊かな自然を紹介しています。

1 エントランスホール。市内観光地や特産品を紹介するQRコードを記載したマップを掲示し、能美全域への玄関口も担っています。

2 「能美の誕生」コーナー。旧石器時代から平安時代までの能美の歴史を出土品とともに紹介しています。

3 「白山曼荼羅図が描かれた時代」コーナー。石川県指定文化財「絹本着色白山曼荼羅図」の世界を学べます。

4 「電化製品が広まる前の暮らし」コーナー。大正・昭和時代の道具を当時の民家再現とともに展示しています。

5 「能美電が走っていた時代」コーナー。ローカル鉄道「能美電」の歴史を紹介しています。

6 「能き美しき能美の自然」コーナー。実物大のジオラマ模型などを展示しています。

7 こどもミュージアム のみつけ。能美の自然・歴史・民俗をイメージした遊具で、遊びながら学べる空間です。

能美ふるさとミュージアムが人々に届けるもの

地域の歴史や民俗、自然にまつわる貴重な資料を展示している能美ふるさとミュージアム。学芸員として施設に勤める横幕史織さんに、建設の経緯や今後の展望を伺いました。

博物館という場で、地域の魅力を伝え続ける

能美ふるさとミュージアムは、令和2年10月に開館した新しい総合博物館です。文字が書かれた日本最古の「刻書須恵器」をはじめ、300点にのぼる国指定史跡能美古墳群の出土品などの貴重な資料を、映像やジオラマなどを交えて展示しています。「こんなにすごいものが能美にあったんだ!」「市の見え方が変わった!」など、うれしいお言葉をいただくことも多く、当館が能美のあふれる魅力を再認識できる場所になっていると実感しています。展示コーナーのほかにも、能美の自然や歴史、民俗をイメージした遊具で遊びながら学ぶことができる「こどもミュージアムのみつけ」は、館内屈指の人気のスポットとなっています。

当館では、「のみ古墳女子」という古墳の魅力を発掘する会を設立しています。イベントへの参加をはじめ、一緒に能美ふるさとミュージアムのオリジナルグッズについてアイデアを話し合うといった取組も行いました。これからも、市民の皆さんの声を反映しながら、より良いミュージアムづくりを推進していきます。

安定した融資がかなえる、博物館づくり

長期の借入が可能で、繰越事業においても利用できることが決め手となり、今回JFMに融資をお願いしました。その結果、財政負担の平準化が図られ、健全な財政運営と持続可能なまちづくりの両方が実現できていると感じています。

今後は、「何度でも訪れたいくなる手作りの博物館」となることを目指し、さまざまな活動に力を入れていきたいです。開館してまだ日が浅いため、まずは特別展や企画展、イベントを通して当館のことを知っていただければと思っています。そして、1度だけではなく、2度、3度と足を運んでいただけるよう、多くの方に楽しんでいただける工夫を凝らしていきたいです。

当館は、能美市の魅力を詰め込んだ総合博物館です。ここで学んだ知識を活かして、実物の古墳や自然に触れていただき、能美という地域を楽しんでもらえればうれしいです。



能美ふるさとミュージアム 学芸員
横幕 史織

■能美ふるさとミュージアムの利用状況

令和2年10月の開館から現在に至るまで、県内を中心におよそ1万5千人の方にご来場いただいています。シニア層の方や、小中学生の社会科見学での利用がメインとなっていますが、「こどもミュージアムのみつけ」をきっかけに、これまで利用が少なかった子育て世代の方が、お子さんと一緒にご来館されるといった光景も多く見られるようになりました。



- ▶ 能美根上駅からのみバスで15分
「能美ふるさとミュージアム」下車
- ▶ 能美根上スマートICから車で20分
- ▶ TEL 0761-58-5250 FAX 0761-58-5251

C o l u m n

地域とつながる「能美ふるさとミュージアム賑わいイベント」

能美ふるさとミュージアムでは、来館のきっかけづくりや能美の魅力発信に向けて、定期的にイベントを開催しています。博物館だけでなく、周辺の施設にもご協力いただきながら、ヨガ教室や防災について学べるカフェ、地域の特産品の販売会などを実施しています。周辺施設と一丸となり、さまざまな世代の方に楽しんでいただけるイベントを催すことで、地域活性化にもつながっています。



石川県能美市

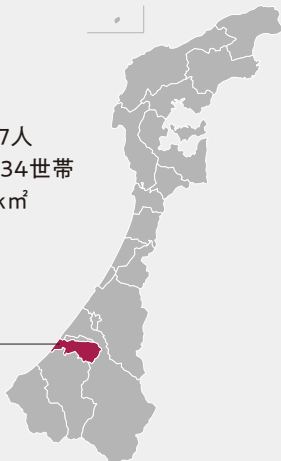
石川県南部の南加賀地方に位置する能美市は、平成17年に能美郡根上町・寺井町・辰口町の合併により誕生しました。海、平野、山といった豊かな自然に囲まれ、さまざまな歴史・文化が生み出されてきた地域です。



能美市の市章

石川県能美市

■人口:49,867人
■世帯数:19,334世帯
■面積:84.14km²
(令和3年3月1日現在)



私の
地元自慢

歴史と文化、自然に恵まれた のびのびと心安らぐ街です！

能美市は自然が身近にありつつ買い物にも出やすいという、まさに都市と田舎のいいところを集めたような暮らしやすいまちです。実際に、全国の住みよさランキングでも常に上位にランクインしており、県外から移住される方も多くいらっしゃいます。また、2万年以上前から人々の営みが続いてきた場所ということもあり歴史的な古墳や伝統工芸品である九谷焼など、歴史と文化、自然がそれぞれ息づいています。

能美ふるさとミュージアム 館長 外山 ひとみ



伝統工芸に触れる 九谷陶芸村

10軒の九谷焼店舗が立ち並び、普段使いできるものから高級品までさまざまな九谷焼が購入できます。九谷焼の製作工程が学べる能美市九谷焼美術館「五彩館」や名品を鑑賞できる「浅蔵五十吉記念館」、絵付け体験が楽しめる「体験館」なども人気です。



能美で味わえる伝統野菜 加賀丸いも

栄養価が高く、丸くて粘りが強い「加賀丸いも」。昭和9年の手取川大洪水で土壌が変化し、ボールのようなまん丸のお芋を生産できるようになったといわれています。能美市など石川県の一部でしか生産できない貴重なもので、贈答品としても人気です。



明治の文豪も愛した 辰口温泉

1400年もの歴史をもつともいわれる辰口温泉は、江戸時代に一時途絶えた温泉を2年の歳月をかけ再興した源助の伝説も残る場所。現在は、明治の文豪、泉鏡花が愛した温泉旅館をはじめ、総湯「里山の湯」や足湯が整備され、気軽に温泉が楽しめます。



本件で活用いただいた制度

公共施設等 適正管理推進事業

公共施設等総合管理計画に基づき実施する事業です。既存の公共施設の集約化・複合化・長寿命化・立地適正化等を実施するものを対象としています。

JFMスタッフ Message



今回、能美ふるさとミュージアムの建設に際しては、公共施設等適正管理推進事業で機構資金をご活用いただきました。

JFMでは、借入条件の検討をサポートするセルフチェックシートや償還年次表シミュレーションソフトを提供しています。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各県域担当までご相談ください。

融資部融資課 石川県担当 林 達也

競技の収益が、地域の財源に！

がんばる公営競技

- ☐ 競馬
- ☐ 競輪
- ☐ オートレース
- ☒ ボートレース



戦後から現在まで市財政を支え続ける

山口県
周南市

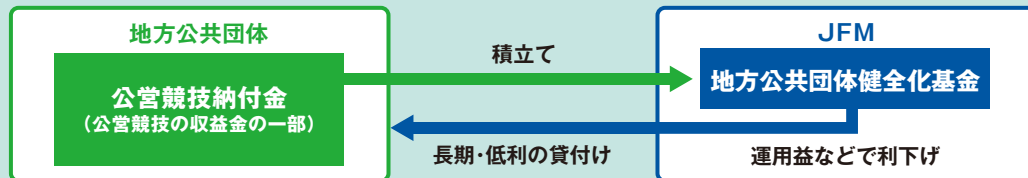
ボートレース徳山

当時の徳山市長が戦後の復興財源を確保するため、
“政治生命をかけて”市民を説得し、
昭和28年に開設したボートレース徳山。
度重なる台風被害にあいながらも
着実に売り上げを伸ばして黒字経営を実現し、
市の財政を支え、地域に貢献しています。



公営競技とJFMの関係

JFMでは、公営競技の収益金の一部を受け入れて運用し、地方公共団体へ融資する際の利下げ財源として活用しています。



収益向上を目指して

Interview

さまざまな施策により過去最高の売り上げを記録

平成23年2月のモーニングレース開始を契機に電話投票の売り上げを大幅に増やし、また同時期に外向発売所を開設したことで年360日の営業効果を生むなど好調な売り上げを維持しています。平成23年度から9年連続で黒字決算となり、令和元年度には過去最高の売り上げを記録しました。その収益は、子どもの医療費等子育て支援に役立てられています。これからも地域を支え、地域に愛されるボートレース場を目指していきます。



Topic

公営競技の中で“最朝”のレース 「グッドモーニング徳山」

平成23年2月からモーニングレース（第1レースの発走時刻がおおよそ10時前までにスタートするレース）を開始し、ボートレース徳山の早朝レース「グッドモーニング徳山」として人気を博しています。公営競技の中で第1レースの開始時間が最も早く、午前8時台から舟券を購入可能。「公営競技で最も早い発売開始時間」というブランド力を強みにした企画番組は、全国のボートレースファンの注目を集めています。

レース



施設



さまざまなイベントを開催 「芝生広場」

ボートレース徳山は、ボートレースファン以外の多くの方々にも楽しんでいただける、地域に開放された施設を目指しています。その象徴となる施設の1つが、中央スタンドの前庭にあたる「芝生広場」です。

平成29年のオープン以降、フードフェスティバルやスポーツイベントなど、さまざまな屋外イベントを開催。地域の多くの方々に喜ばれています。

地域活性子育て応援プロジェクト 「あそらぼ」

周南市立徳山駅前図書館とのコラボレーション事業として、地域活性子育て応援プロジェクト「あそらぼ」を立ち上げ、あそびを通して子どもたちのこころ・頭・からだの健やかな成長を応援する活動を展開するとともにボートレースの認知拡大に努めています。直近1年間（平成31年2月～令和2年2月）のイベント開催日数は91日で、23,820人の方々が来場されました。

イベント



01 令和3年度 事業計画のお知らせ

地方公共団体の代表者等で組織される代表者会議において、
JFMの令和3年度事業計画等が議決されました。各事業におけるポイントをご紹介します。

▶ 融資業務

令和3年度貸付計画額2兆5,100億円(前年度+8,500億円)

新型コロナウイルス感染症の影響による地方税の大幅な減収等に対応するための地方公共団体への資金繰りや、地方単独事業のうち政策的に対応する必要がある事業、住民生活に密着した公営企業等、さらには地域活性化の観点等地方の視点から重要な政策分野、東日本大震災等大規模災害に関連する事業を支援します。

POINT
1



減収補填債への対応

令和2年度における地方税の大幅な減収に対応するため、減収補填債について、所要額を計上します。

POINT
2



機構資金の活用環境の整備

借入条件の検討をサポートするセルフチェックシートや償還年次表シミュレーションソフトの活用促進、借入手続きのさらなる簡素化など、引き続き機構資金を活用しやすい環境の整備を図るとともに、相談・助言機能の充実を図ります。

▶ 資金調達業務

令和3年度資金調達計画額2兆2,400億円(前年度+3,300億円)

必要な資金を低コストで安定的に資本市場から調達するため、多様な資金調達手段を活用するとともに、積極的な情報開示と説明責任を的確に果たしていくことなどを通じ、機構に対する資本市場からの確固たる信認を強化します。

POINT
1



積極的なIR(投資家向け広報)の実施

Web会議システム等を活用した投資家説明会や国内外の個別投資家訪問等のIRを戦略的かつ積極的に実施することによって、ESG投資の高まりなども含めた投資家動向の的確な把握に努めます。また、機構の経営状況や機構債券に対する正しい理解の醸成を図り、安定的な資金調達の実現に努めます。

POINT
2



地方公共団体のSDGs(持続可能な開発目標)に関する施策を情報発信

貸付けを通じて支援している地方公共団体のSDGsに関連する施策について、グリーンボンドの発行等により適切に情報発信をし、その取組を促進します。

POINT
3



資本市場の健全な発展への貢献

資本市場重視の基本姿勢を堅持しつつ、また、地方公共団体との連携強化等にも取り組み、公共債市場における基幹的な発行体としての役割をより一層強固なものとし、資本市場が健全に発展するよう積極的に貢献していきます。

JFMの事業計画

! JFMホームページより、より詳細な事業計画、予算等をご確認いただけます。
<https://www.jfm.go.jp/about/plan.html>

JFM 事業計画

検索



▶ 地方支援業務

地方公共団体のニーズに合わせて、財政の健全性の確保、資金調達等をはじめとした財政運営全般にわたる課題の解決に資するため、「調査研究」、「人材育成・実務支援」及び「情報発信」の三本柱を有機的に連携させ、総合的な地方支援業務を実施します。

POINT 1



個別団体の状況や課題に応じたきめ細かい人材育成・実務支援

公営企業会計の適用や公会計の整備等地方公共団体の経営・財務マネジメント強化に向けて、団体の状況や要請に応じてアドバイザーを派遣する事業を、総務省と共同で創設します。

財政運営や資金調達等に関する課題や疑問の解決に向けて、セミナー・研修や出前講座の実施などきめ細かい支援を、eラーニングやWeb会議システムも活用しつつ、効果的にを行います。

事業内容

- 地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業
- JFM地方財政セミナー、JFM地方公営企業セミナー
- 資金調達及び資金運用に係る各種研修会
- eラーニング研修事業
- 出前講座
- 財政運営や資金調達等に係る実務支援

POINT 2



専門機関と連携した調査研究の実施と成果の還元

地方公共団体の財政運営、諸外国の地方財政制度、地域金融、財政分析等に関する総合的な調査研究を実施するとともに、その成果を人材育成・実務支援、情報発信に活用するなど、地方公共団体へ還元します。

事業内容

- JFM・GRIPS連携プロジェクト
政策研究大学院大学と連携した調査研究、教育事業
〔教育事業の講義：地方財政特論
(人口減少時代等社会構造変革下における地方財政)〕
- 諸外国の地方財政制度等に関する調査研究
- 財務情報を活用した財務分析・診断事業
- 地方公共団体のニーズ・課題把握のための調査
- 先進事例の収集・蓄積
- 地域金融に関する調査研究

POINT 3



地方公共団体の財政運営等に資する情報の積極的な発信

先進事例検索システムの掲載事例の充実を行うほか、財政分析チャート「Octagon」を利便性を向上してリニューアルします。また、金融知識、参考事例、経済・金融データ等地方公共団体にとって参考となる情報を、ホームページや各種広報媒体等を活用して積極的に発信します。

公庫債権金利変動準備金の国庫への帰属

地方公共団体金融機構法附則第14条の規定に基づき、令和3年度においては以下の国庫帰属に対応します。

▶ 地方交付税の財源確保

2,000億円を国に帰属させ、その全額を交付税及び譲与税配付金特別会計に繰り入れます。

▶ 森林整備などの推進に係る森林環境譲与税の譲与額の増額

400億円を国に帰属させ、その全額を交付税及び譲与税配付金特別会計に繰り入れます。

▶ 上下水道コンセッションに係る補償金免除繰上償還の財源確保

繰上償還の実績に応じた額を国に帰属させ、その全額を財政投融资特別会計（財政融資資金勘定）に繰り入れます。

利用してみよう！

地方支援業務

JFMの地方支援部では、資金調達をはじめとした地方公共団体の財政運営全般にわたって、皆さまのお役に立てるよう、各種業務を実施しています。今回は「令和3年度実施予定の地方支援業務」をご案内します。

※セミナー・研修等の開催時期・場所、開催方法等については、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、決まり次第、JFMのホームページ等でご案内します。

令和3年度 実施予定の 地方支援業務の ポイント

- 市町村等の個別課題対応へのきめ細かい支援のため、新たにアドバイザー派遣事業を創設
- 地方の課題対応に関するセミナーを、これまでのリアル開催に加え、eラーニングも充実化
- 先進事例検索システムや財政分析チャート「Octagon」など、Webによる情報発信を強化



地方公会計・公共施設管理・公営企業経営関係

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業(総務省との共同事業) **新規**

4つの政策テーマについて、団体の状況や要請に応じて、市区町村等に継続的にアドバイザーを派遣します。4月中旬までJFMで申請を受け付け、6月から順次派遣予定です。夏に追加募集も行いますので、積極にご活用ください。

政策テーマ

- 公営企業会計の経営戦略の策定・経営支援
- 公営企業会計の適用
- 地方公会計の整備
- 公共施設等総合管理計画の見直し

支援方法

市区町村、公営企業

各課題の対応、達成のため、継続的にアドバイザーを派遣し、団体の取組を支援

都道府県

市区町村等に対して研修を行う場合に、講師として派遣(従前の専門家派遣事業と同様)

JFM地方財政セミナー・JFM地方公営企業セミナー ※実地開催は、夏～秋頃にそれぞれ地方で1回実施予定

先進的な取組を行っている地方公共団体の事例発表や制度所管省庁の説明などを織り込んだセミナーを、実地開催またはeラーニングで実施します。

プログラム例

地方財政セミナー：地方公会計の推進と公共施設の適正管理(総務省財務調査課)
公会計改革と公共施設マネジメントの取組事例(先進自治体の発表)
公営企業セミナー：地方公営企業等の現状と課題(総務省公営企業課)
経営戦略の方向性と策定にあたってのポイント(先進自治体の発表)



資金調達・運用関係

資金調達入門研修・資金運用入門研修 ※実地開催は、夏～秋頃にそれぞれ東京・地方で2回実施予定

資金調達・運用に初めて携わる職員を対象とした研修を、実地開催またはeラーニング研修で実施します。

プログラム例

資金調達入門研修：制度編／金融編／経済編
資金運用入門研修：資金運用のリスクと管理(基礎編・応用編)／銀行を理解しよう

資金調達・運用に係る宿泊型専門研修 ※7月及び9月に実施予定

資金調達・運用に関する専門的知識の習得を目的とし、集中的に学べる宿泊型研修を、市町村職員中央研修所や市町村国際文化研究所と共催で実施します。

プログラム例

地方債の金利の見方／実践スプレッド分析／地方債の借入交渉／
資金運用のリスクと管理／自治体の事例発表



財政運営等に関する個別支援

出前講座 ※当面はオンラインで実施

地方公共団体の研修会において、ご要望に応じたテーマで自治体ファイナンス・アドバイザー等が講師として出前講座を行います。

実務支援

自治体ファイナンス・アドバイザー等が、団体の課題解決に向けて、電話やメール等で専門的なアドバイスを行います。



情報発信

先進事例検索システム

財政運営や地方公営企業の取組等に関する1,000件超の事例を掲載している先進事例検索システムに、地域振興に係る事例など新たな分野の事例も追加。掲載内容をさらに充実させます。

財政分析チャート「Octagon」

市町村の財政状況を簡易に分析できる財政分析チャート「Octagon」を、「New Octagon」として大幅リニューアルするなど、分析内容を充実します。詳細は右ページをご覧ください。

JFMの
地方支援業務を
もっと詳しく
知りたい方は

地方支援業務 パンフレット

JFM 地方支援業務

検索

最新版のPDFを
ダウンロードできます！



PICK UP!

財政分析チャート「Octagon」が分析内容の高機能化などにより 「New Octagon」として大幅にリニューアル！

財政分析チャート「Octagon」とは？

ホームページで公開中！



- 市町村の職員等関係者が誰でも、自分の団体の財政状況を簡単に分析できるツールです。
- 各団体の主要経費（人件費、扶助費等）や基金残高など8項目の偏差値がチャートで表示され、他団体と比較した財政状況の特徴や課題を視覚的に把握できます。

リニューアルしてなにが変わるの？

- 媒体のWebベース化！
エクセルシートにより表示させていたチャートを、Webブラウザ上で表示・操作・分析ができるようになります。
- 分析プロセスが簡単に！
チャートの表示までに10個の数値を入力する必要がありましたが、団体と年度を選択するだけで表示させることができるようになります。団体選択は、類似団体の選択や標準財政規模による絞り込みでもできます。
- 経年比較や団体比較が可能になり分析内容が高機能化！
単団体単年度分のチャートから、複数年度や複数団体分の表示が可能となり、簡単に比較することができるようになります。
- 対象年度が拡充！
3年度分（平成28～30年度）から12年度分（平成20～令和元年度）に拡充しました（今後も毎年度新規決算を追加）。

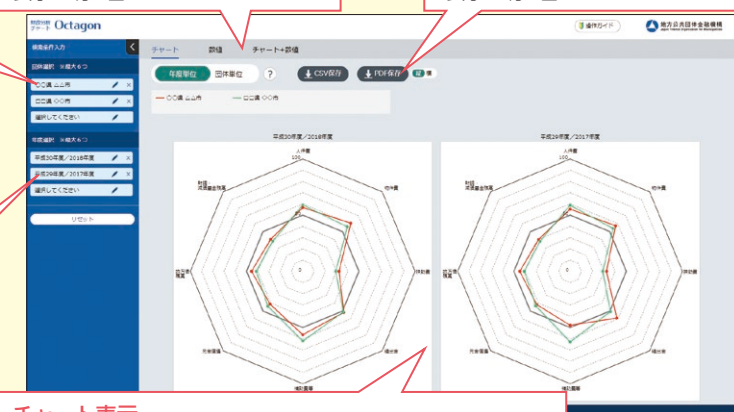
「New Octagon」の画面イメージ

団体選択画面

年度選択画面

表示切り替えボタン①
「チャート」「数値」「チャート+数値」の
表示を切り替えられます

表示切り替えボタン②
年度単位による表示と団体単位による
表示を切り替えられます



チャート表示
1チャートに6つまでの年度・団体分のチャートを表示。チャートは
6つまで表示できるため、経年比較や団体比較が簡単にできます

※画像は開発中画面です。

●地方公会計・公共施設管理・公営企業経営関係

☎ 地方支援部 調査企画課:03-3539-2676

お問い合わせ

JFM 地方支援業務のご案内

検索

<https://www.jfm.go.jp/support/support.html>

●資金調達・運用関係・その他財政運営全般・財政分析チャート「Octagon」

☎ 地方支援部 ファイナンス支援課:03-3539-2677

JFM 財政分析チャートOctagon

検索

✉ chihoushien@jfm.go.jp

みんなのギモンに
ファイナンス博士が回答!

みんな 気になる、 お金のこと

今回は、農業協同組合の
特徴や事業概要をはじめ、
今後の動向についても
ご説明するナンス。



今回の
テーマ

農業協同組合

- ▶ 農業協同組合の特徴
- ▶ 信用事業(JAバンク)について
- ▶ 農業協同組合のこれから



農業協同組合ってなに?

農業協同組合(以下、JA)は1947年の「農業組合法」により誕生しました。以来、JAでは農業生産に関する助言をはじめとして、さまざまな事業を行っています。

〔図表1〕JAの主な事業

	代表事業・指導事業	経済事業			信用事業		共済事業	厚生事業	
全国	JA全中	JA全農			農林中金		JA 共済連	JA全厚連	
都道府県	JA中央会 47	32県は上部の 全国組織と 統合済	JA経済連 8	7県は 下部組織に 統合	12県は 上部組織と 統合済	JA信連 35		JA厚生連 36	
市町村・地域	総合JA 615								
法個人	組合員(正組合員425万・准組合員624万) (MEMO①)								

代表・指導事業(政府機関との調整・広報等)

全国組織は「全国農業協同組合中央会(JA全中)」、県別組織は「都道府県農業協同組合中央会(JA中央会)」です。

経済事業(農産物販売、農業・機械等の協同購入、生活品販売等)

全国組織は「全国農業協同組合連合会(JA全農)」、県別組織は「県経済農業協同組合連合会(JA経済連)」です。

信用事業(通称「JAバンク」。貯金・融資等)

全国組織は「農林中央金庫(農林中金)」、県別組織は「都道府県信用農業協同組合連合会(JA信連)」です。

共済事業(通称「JA共済」。生命保険、損害保険に相当する事業等)

全国組織は「全国共済農業協同組合連合会(JA共済連)」で、県別組織は統合済です。

厚生事業(健康管理・医療・高齢者福祉事業等)

全国組織は「全国厚生農業協同組合連合会(JA全厚連)」で、県別組織は「都道府県厚生農業協同組合連合会(JA厚生連)」です。

JAには農家のために生産、流通、販売をどう発展させていくかを追求する「職能協同組合」という側面と、地域住民に必要な各種サービスをどう提供していくかを追求する「地域協同組合」という2つの側面があります。



JAの「信用事業」ってどんなもの?

JAの信用事業(JAバンク)は通常の銀行と異なる特徴をもっています。

JAバンクと銀行との対比

組合員以外の利用には規制がありますが、自治体との多くの取引は組合員扱いです。ペイオフ対策として「貯金保険機構」(MEMO②)という銀行等とほぼ同等の仕組みが存在します。

ちょこっと、 ファイナンス MEMO ①



JAには組合員と准組合員が存在するナンス。組合員は基本的に農業従事者ですが、准組合員はサービスの利用者であればよく、農業と関係がなくても構わないナンス。農業の担い手の減少につれてJAの中で准組合員の比率が高まっているナンス。

ちょこっと、 ファイナンス MEMO ②



貯金保険機構の正式名称は「農水産業協同組合貯金保険機構」ナンス。JAは信用事業だけでなく共済事業や経済事業等も行っており、リスク構造が異なることから預金保険機構とは別組織になっているナンス。なおJAバンクでは「破綻未然防止システム」と呼ばれる制度があり、地域のJAの破綻前でも資本注入を可能にする「JAバンク支援基金」が存在するナンス。貯金保険より前に「JAバンク支援基金」が救済に動くという二重のセーフティネットになっているナンス。

〔図表2〕JAバンクと銀行の主な違い

区分	JAバンク（農協の信用事業）	【参考】銀行
根拠法	・農協法 ・農林中金法 ・JAバンク法(再編強化法)など	・銀行法
会員 (組合員) 資格	(地区内において) ■正組合員 ・農業者または農業を営む法人 ・耕作面積、農業従事日数の条件等は定款で制定 ■准組合員 ・農協の事業を利用する人など	・なし
預金	・員外利用は組合員利用額の25%まで ・地方自治体は組合員とみなす	・制限なし
貸出	・員外利用は組合員利用額の25%まで ・組合員のための事業を妨げない限度において上限を超える地方自治体への融資が可能	・制限なし
保険機構	・対象(貯金保険機構)(MEMO②)	・対象(預金保険機構)

貯金について

JAでは組合員が預けたお金を「貯金」と呼びます。その総額は約104兆円に達し、日本の個人の預貯金合計の約1割を占めています。ちなみにメガバンクで最も大きい三菱UFJ銀行の個人預金は約79兆円であり、それ以上の資金量です。

貸出と運用について

各地域にあるJAバンクの貸出金総額は約21兆円であり、グループ全体でも約45兆円です。(MEMO③)JAの銀行等引受債への貸出は約0.4兆円程度であり、銀行等引受債全体においてJAグループが占める割合は約6%程度となっています。

資金の多くは「系統預け金」として系統の金融機関に再預入され、多くは農林中金に集まります。農林中金は多くの有価証券投資を行い、運用益を各JAに還元していますが、超低金利のため運用は厳しさを増しています。そのため各JAに対する還元を近年引き下げています。

地方自治体の指定金融機関とJAとの関わり

JFMが昨年実施した地方自治体の指定金融機関との取引に関する調査では、指定金融機関を指定している自治体1,750団体のうち、JA系の金融機関を指定していたのは296団体でした。内訳は、市区52団体、町村244団体となっており、JA系は主に町村の指定金融機関として一定の役割を果たしています。

ちょこっと、
ファイナンス
MEMO③



JAグループの国内農業への融資は近年伸びているとはいえ2.5兆円であり、全グループの総貸出に占めるその割合は約6%程度ナンス。なお住宅ローンは約9兆円あり約20%程度を占めているナンス。

〔図表3〕
JAバンクの主な資金の流れ(2019年度)



JAは今後どうなるの？

バブル経済崩壊やリーマンショック等でJAは大きな損害を被りました。今日に至るまで都道府県レベルの組織と市町村・地域レベルの各JAの合併統合が進んでおり、地域の総合JAの数は1989(平成元)年の6分の1以下にまで減少しました。

また、2015年には60年ぶりの農協法改正を伴う大きなJA改革が行われました。農業を取り巻く環境がグローバル化する中、政府からはJAに対して一層の自己改革を求められており、地域の総合JAがさらに集約される等の変化が予想されます。JAの動向は地域経済にも影響するものであり、今後も目が離せません。



ナイス質問で
ナンス!

今回のテーマについて、ご不明点やご相談等ありましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

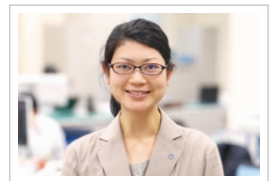
地方支援部ファイナンス支援課 ☎03-3539-2677

派遣元▶ 長崎県



仕事とプライベートどちらも
充実した毎日を過ごしています。

資金部 資金管理課 宮上 七重



JFMでは、資金繰り、債券の元利払い、余裕資金の運用、長期借入などに関する業務を担当してきました。資金繰りとは、日ごとの資金収支を把握し、必要な資金の移動を指示するもので、資金管理課の中でも特に重要な業務の1つです。適切な資金移動が行われないとJFMの信用や機構資金の貸付け先である地方公共団体の財政運営に重大な影響を及ぼしてしまうため、ミスのないよう課内全員で確認しています。

JFMでの業務を通じて、金融や行財政に関する知識をはじめ、効率的な仕事の進め方や働き方、リスク管理など多くのことを学んでいます。また、終業後に他部署の職員の方と一緒に皇居ランを楽しむなど、ワークライフバランスも充実しています。

私のふるさと自慢

長崎港を中心に山々が取り囲む“すり鉢状”の地形により、「坂のまち」として知られる長崎県。この坂によって生み出された立体的な夜景は「1000万ドルの夜景」と評され、香港、モナコと並び「世界新三大夜景」に選ばれています。また、三方を豊かな海に囲まれ、五島列島、壱岐、対馬などの離島があり、海面漁業・養殖業生産量及び生産額が全国2位、魚種の豊富さは全国1位といわれている魚のおいしい県です。四季折々の新鮮な海の幸を食べ、ぜひ長崎県へお越しください。



稲佐山からの夜景



五島のお刺身料理

〈写真提供：(一社)長崎県観光連盟〉

わたしのシゴト わたしの

派遣元▶ 和歌山県 かつらぎ町



多様な職種の職員と交流でき、
さらに視野が広がりました。

融資部 融資課 平岡 政芳



融資課で、主に長期貸付けの審査を担当しています。借入申込書を審査する中で、全国の地方公共団体の方から直接お話を伺う機会も多く、さまざまな事業について知ることができるなど、日々貴重な学びを得ています。派遣当初は財政業務の経験がなく苦勞もありましたが、JFMの充実した研修を通して、地方財政や金融などの幅広い知識を身につけることができました。

JFMには全国から派遣された地方公共団体の職員をはじめ、総務省やプロパーの方、金融機関出身の方など、さまざまな経歴の方が在籍しています。交流を通して仕事の進め方や考え方など、視野が広がったと実感しています。

今後は、JFMで学んだ知識を派遣元でも活かしていきたいです。

私のふるさと自慢

かつらぎ町では、苺、桃、ブドウ、ミカンなど1年中フルーツ狩りを楽しめるほど、さまざまなフルーツを栽培しています。特に平核無柿は日本一の生産高で、種がなく甘くてジューシーな果肉で食べやすいので、ぜひご賞味ください。また、高野山と関係のある史跡が多く、空海に高野山を授けた丹生都比売神社、高野参詣道の三谷坂・町石道は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されています。

和歌山へお越しの際は、かつらぎ町にもお立ち寄りいただくと幸いです。



丹生都比売神社 花盛祭楼門



平核無柿

派遣元▶ 石川県



日々の業務や研修を通して
多くの学びを得ています。

融資部 融資管理課 上出 真幸



融資管理課では、機構資金に係る債券管理を担当しています。さまざまな団体の方々から直接お話を伺う機会が多く、財政面はもちろんのこと、各団体が抱えている課題や課題解決に向けた各種取組など、学びの多い充実した毎日を送っています。また、JFMでは、研修制度も充実しており、日々の業務を行う上で、知見を深める一助となっています。

JFMには、プロパー職員のほか、全国各地の地方公共団体から派遣された職員や総務省職員、金融機関職員がおり、さまざまな考え方に触れる貴重な機会にもなっています。

ここでできた多くの人とのつながりを大切に、学んだこと、経験したことを石川県に還元していきたいと思っています。

私のふるさと自慢

石川県は、日本海側のほぼ中央に位置し、能登半島が日本海に突出しています。石川県沖は暖流と寒流が交わる好漁場となっており、「加能ガニ」や「寒ブリ」などの日本海の幸はどれもご賞味いただきたい自然の恵みです。

また、日本三名園「兼六園」や「ひがし茶屋街」のような風情ある名所や国内で唯一波打ち際を車で走ることができる「千里浜なぎさドライブウェイ」といった自然を満喫できる所など観光スポットも満載です。

ぜひ、石川の魅力を体感しにいらしてください。



加能ガニ



千里浜なぎさドライブウェイ
(写真提供: 石川県観光連盟)

ジモト

地方公共団体から派遣され、JFMで活躍している職員が、
日々の業務や、地元の魅力についてご紹介します。

派遣元▶ 三重県 津市



地方公共団体の課題や
先進事例を勉強できます。

地方支援部 調査企画課 田中 裕貴



地方支援部が実施する人材育成事業のうち、「JFMセミナー」や「専門家派遣事業」を担当しています。ともに地方公会計、地方公営企業に関するテーマを取り扱っており、業務を通して国の制度や、地方公共団体が直面している課題、先進自治体の事例を勉強することができます。また、JFMに在籍する方々は地方や国、金融機関などさまざまな出身の方が多く、働き方や各地の文化などに触れることができ、公私を通して広い視野が身に着いたと思います。

まもなく派遣元に帰任する時期が近づいてまいりました。JFMでの経験を通して、これまで見えていた景色がどう変わって見えるのか、今から楽しみです。

私のふるさと自慢

津市は三重県の中部に位置しています。主な公共交通機関として近畿日本鉄道が通っているため、利便性の良い街です。津市の自慢は、津市に本社があるお菓子メーカーの「あずきパー(井村屋)」や、「ペビースターラーメン(おやつカンパニー)」です。皆さまも一度は目にしたことがあるのではないでしょうか。

また、近年は映画のロケ地として選ばれることもあり、昨年公開された映画「浅田家!」や2014年公開の「WOOD JOB!」などに津の風景が登場します。



津城跡(お城公園)



おやつカンパニーの人気商品

私たちも JFM債 買っています!

JFM債とは

JFMが発行する債券です。国債と同等の格付を取得しており、高い信用力を有しています。



岩手県 北上市

北上市 財務部 財政課の皆さん

当市では、これまで定期預金による運用を行ってきましたが、市場金利が超低水準で推移する中、安全性を確保した上でより効率的な運用を行うため、令和元年10月にはじめてJFM債を購入しました。

北上市は、2021年に市のシンボルであり桜の名所百選としても知られる「展勝地」が、大正10年の開園から100周年を迎えます。また、民俗芸能の宝庫である当市を象徴するお祭りである「北上みちのく芸能まつり」が60周年を迎え、平成3年の市町村合併による「新北上市」が誕生してから30周年を迎える大きな節目の年となります。

市民がより一層、市への愛着と誇りを感じられるような活気ある取組を充実させるため、JFM債の運用益を活用していきたいと考えています。

編集後記

本号の制作にあたり、ご協力賜りました皆さまに厚くお礼申し上げます。

今回は「融資がつむぐまちづくり」で石川県能美市を、「がんばる公営競技」でボートレース徳山をご紹介させていただきました。今回もWebによる取材となりました。皆さまのご協力により発行ができましたことを改めて感謝申し上げます。

今年度の発行は本号が最後となります。Webや書面を活用した取材を実施し、記事を作成いたしました。いかがでしたでしょうか。来年度も引き続きJFMだよりをよろしくお願いいたします。(企画課 高梨)

派遣職員を募集しています。——人とつながる、世界が広がる——

地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。地方公共団体金融機構と一緒に働く職員を募集しています。派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。派遣職員向けに充実した研修制度があります(地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用に係る金融知識の習得を目指す宿泊型研修等)。

【この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しております。】

お問い合わせ先  各事務局 または 経営企画部 秘書役室：☎ 03-3539-2629

JFMだよりへの掲載希望やご意見を募集しています。

「融資がつむぐ まちづくり」及び「がんばる公営企業」では、掲載希望を募っています。地方公共団体におかれましては、機構資金の活用事例や当該団体の魅力、公営競技施行団体におかれましては、経営向上に向けた取組等をご紹介させていただきます。本誌への掲載希望や、掲載内容に関するご意見・ご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先  経営企画部 企画課 広報担当：☎ 03-3539-2674 ✉ info@jfm.go.jp



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く
地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



〔JFMとは、 Japan  Finance Organization for  Municipalities の略称です。〕

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館